



第3学期 思いやる子（生命を大切にする生活） 第5期（1月～3月） 期題「光の子どもたち」

*みんなのために進んで役に立つことをしていくことから、他の為に良いことをする喜び、充実感、満足感を学び、身に付けていく。



ごっこコーナー; 冬休み明けからカルタや福笑いなどのお正月遊びを楽しみました。福笑いは初めて経験する子どもたちが多く「これどうやって遊ぶの？」という言葉がよく聞かれました。保育者が目隠しをして遊び方を伝えると「やってみる」と興味を持ち遊び始めました。友だちが「これは目だよ。鼻だよ」とパーツを渡してくれ完成・目隠しを取ると「変な顔になった」と笑っていた子どもたちです。また園や友だちから年賀状が届く経験をした子どもたちから「お手紙を友だちにかきたい」という声が・・・そこでこどものもりお店屋さんで葉書を買うことに。みんなで葉書と切手作りをしました。お店屋さんで葉書を買って・絵の部屋でゆっくり葉書を書く・お店さんの隣にある郵便局で切手を貼りポストに入れるという流れが身に付きました。友だちの書いた葉書を届けたいと配達を張り切ってやってくれる子の姿も多くみられています。先生の自慢大会から手編みが盛り上がり、子どもたちの「やってみよう」の気持ちを大切に今後も見守っていききたいと思います。



表現のコーナー; 2学期に引き続いて「てぶくろ」の劇が盛り上がり、小さい子から大きい子まで、かわいい動物さんたちで毎日てぶくろの中は満員のぎゅうぎゅうづめ！配役を知らせるボードの前で、「今日はきつねにしよう♪」「〇〇くん一緒にやろうよ！」など自分たちで楽しんで考えながら決める姿が見られました。舞台に出る役だけでなく、幕や楽器、ナレーターも人気です。劇が始まると、お客さんになり見に来る子どもたちも...♪見てもらうことで喜びや楽しさを味わい、さらに自信に繋げていけたらと思っています。また、先生たちの自慢大会・すみれさんの自慢大会をきっかけに、跳び箱に挑戦する子どもたちも多く見られています。跳べる段を高くしようと、何度も練習する姿も！子どもたちの挑戦する気持ちを大切に、怪我のないよう見守っていききたいと思います。



外あそびコーナー; 羽根つきや竹馬、缶ぽっくり、こま回しなどお正月遊びに親しんだ1月。手作りの羽根つき練習台を作ったことで、0・1・2歳の子たちも一緒に楽しむ姿があり、羽根つき、竹馬は2月に入っても多くの子ども達が楽しんでいました。マラソンコーナーでは自分で走った数が数えられるように、おはじきと数字の書いた卵パックを用意すると、数を数えては走った週数を嬉しそうに教えてくれる子ども達でした。フリータイムランチが始まり、今まで以上に様々な子どもたちが混ざっての遊びが広がってきています。(特に砂場やサッカー、氷鬼など)お互いの存在を意識し、楽しく気持ちよく遊ぶ経験を見守っていききたいと思います。

1月下旬にあった先生たちの自慢大会を見て、自分たちもやってみよう！と2月になると、竹馬や縄跳び、バスケットなど、年長さんを中心に盛り上がり、先日の自慢大会をきっかけに年中少児も巻き込んで更に盛り上がりを見せ始めています。年長さんに先生になってもらいながら、これから始まる年中少の自慢大会に向けての練習も盛り上げ、子ども達の自信へとつなげていききたいと思います。

自然のコーナー; ・今年もとても寒い1月・2月となりました。冬ならではの寒さを楽しむ、色々な氷作りをしました。寒い日には、きれいなお花の氷・ハートや星の形の氷・氷のケーキなどができ、「きれい〜！」と感動をしている姿がありました。「冷たい！」と言いながら、氷を型から出して飾り、お湯に手を入れて温め、体験を通して、氷の冷たさ、不思議さ、お湯の温かさなど・・・感じました。また、水やり当番さんでは、たんぼ組さんも引き継ぎで、お当番の仲間入りをしました。どの子も音楽が聞こえると、忘れずやってきて、水揚げを一生懸命しています。もう一つの自然のコーナーのお仕事も楽しく参加し、氷のことや咲いているお花のことなど、お知らせも聞いて覚え、コースで伝えていっています。引き続き、やり方を丁寧に伝えながら、誉めたり、感謝を伝えていきたいと思います。お日様がでてくるときは、プールサイドがとても日が当たり、日向ぼっこコーナーになります。テーブルの上で、毛糸を使って雪作りをしたり、布でハート型に縫ったり、ぼかぼかお日様の光を浴びながら、季節ならではのものを作っています。これから、沢山の春がでできます。子どもたちと発見しながら、季節の移り変わりに感動したり、自然に感謝の気持ちが持てるように、引き続き様々な経験をしながら、楽しんでいきたいと思います。



クッキングコーナー; 新しい年を迎え、七草の一つひとつ丁寧に切り、お鍋でぐつぐつ煮立てて作った『七草粥』。あたたかいお粥に心も体も癒されました。お餅つきを経験したあとは、子どもたちも楽しみにしていたお餅クッキングが始まりました♪『まだかなー』とお餅がぷっくりと膨らんでいくのを心待ちにしている子どもたち！！お箸でひっくり返すのもとっても上手になりました。こんがり焼けたお餅はあんこをのせたり、きな粉をまぶしたり、磯辺もちやピザもち・・・そしてお雑煮にしたりと様々な味を楽しみました！もちろんトッピングも子どもたち1人ひとりが自分で作り、焼きたてのお餅を美味しく味わう経験ができました。また、バレンタインが近づくとみんながだいすきなチョコクリスピーも作りました。みんなで思いを込めてラッピングをしたチョコクリスピーを保育者に感謝の気持ちを伝えながら渡す姿がありました。引き続き、自分で作って味わう楽しさを感じられるメニューをたくさん取り入れながら、振る舞うことの楽しさも経験していけるようにしていきたいです。春の訪れを感じられるようになり、畑のきんかんも甘くなり、夏みかんもますます大きくなってきています！子どもたちと一緒に収穫をしながら大切に味わっていききたいと思います。



フリーランチタイム; フリーランチタイムが始まって一か月が経ちました。3学期は特に年齢別で集まり、進級・卒園に向けて課題の活動も増えてきたり、「春のコンサート」に向けて年齢別で集まり、歌をうたったり、ダンスをしたりする時も増えてきます。今まではコーナーで遊んだ後2番バスが登園してくるとこのような集まりの時間をとっていました。そして終了後はランチになる生活でした。

集まりの時間が終わった後にも子どもたちがより自分の思いで遊びを選んで充実感・満足感が持てるようにし、自分で「お腹が空いた時にランチを食べに行く」という想いを大切にしたい生活をする願いでの形態です。

手順は今までと極力変わらないように配慮していきまします。『11時15分頃ランチルームが開きます。』

- ① 幼クロークでトイレ・手洗いを済ませます。
- ② 玄関側からランチルームへ入る。
- ③ テーブルが満席の時はベンチで待つ。
- ④ 入口で消毒し、年齢別の色分けされた箸をとり、座る場所を決めて箸を置く。(1テーブルには各年齢2人ずつが一緒に座る)
- ⑤ 食事はカウンターで自分の食べられる量を盛る。(今までと同じです)
- ⑥ 汁物を先生が配ってくれたら自分で「いただきます」をして食べ始める。
- ⑦ 食べ終わったら、おかわりは自分でおかず、汁物共に盛る(汁物を自分で盛ることは初めての経験ですので、席までこぼさないように持つていくにはどの位の量の量ならば大丈夫かなどを経験しています)
- ⑧ 食器は自分でピアノ前の片付けテーブルの種類別写真のあるトレイへ置く。(場所は変わりましたが同じ要領です。当番の子が5枚ずつ数えています)
- ⑨ 幼クロークでうがいをする。(テラス側からクロークへいくため、テラスを小走りになってしまう子が多いので、ゆっくり歩いていくことを伝えていきます)
- ⑩ 絵本コーナーで食休みとして絵本をみる又は先生に読んでもらう。
- ⑪ 1時頃まではコーナーにて遊ぶ。その後はおれんじコースの4・5歳児は午睡1番バスは帰りの準備、その他のコースは先生との時間を過ごして帰りの準備となります。このようにして3歳以上の子どもたちが午後の時間を過ごすようになり、一か月の経ち、年齢別の時間を過ごした後も遊ぶ時間があることで今まで以上にイキイキと遊ぶ子どもたちの姿あります。これからも一つひとつゆっくりと丁寧な動きになるようにして過ごしていききたいと思います。